

CONTENTS

1-1	もくじ	1
4-1	カラーバランス	2
4-2	色相 - 彩度	3
4-3	アンシャープマスク	4
5-1	白抜き (背景を消す) 画像の作り方 1	5
5-2	白抜き (背景を消す) 画像の作り方 2	6
5-3	白抜き (背景を消す) 画像の作り方 3	7
6-1	画像の合成	8
	補足: 画像の合成	9
6-2	ロゴ / フレームの挿入	10
	補足: ロゴ / フレームの挿入	11
6-3	レイヤーの構造	12
	補足: レイヤーの構造	13
6-4	ショートカット一覧	14

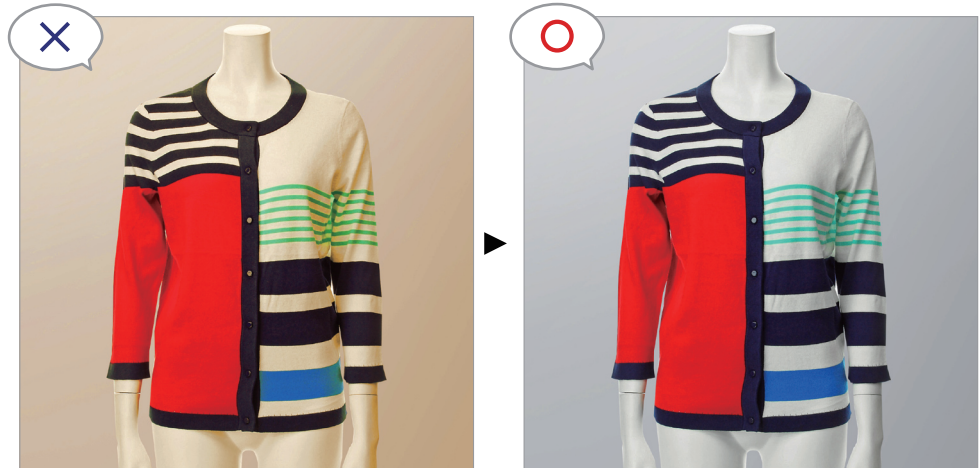
補足

別紙の**初級編**では下記項目の操作について説明しています。
上級編の内容は初級編に目を通した上でご覧ください。

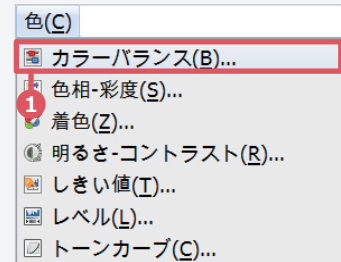
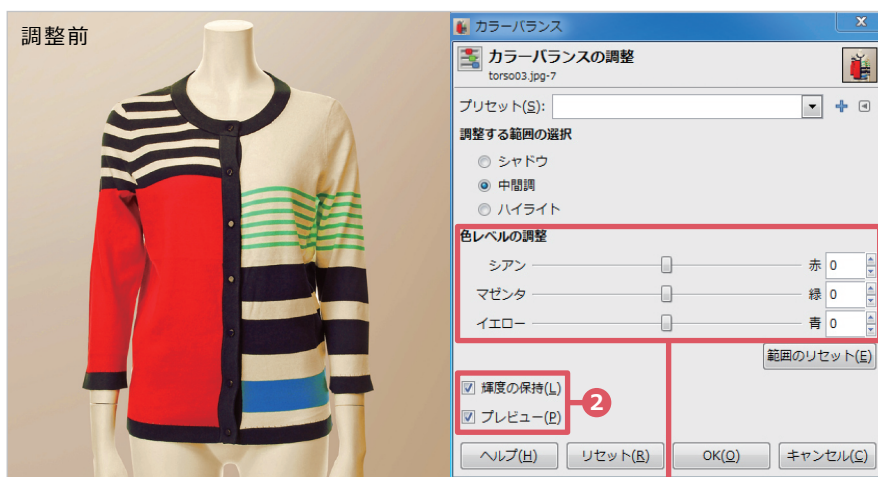
- 1-2 画面の詳細
- 2-1 回転
- 2-2 切り抜き
- 2-3 明るさ調節
- 2-4 文字入れ
- 2-5 画像の保存
- 3-1 基本的な操作
- 3-2 画像の余白が足りない場合

カラーバランス

意図しない色合いで撮影されてしまった商品画像は、買い手に誤解を招く原因になります。そこで「カラーバランス」の機能を使用すると、画像を実物に近い色合いに上げることができます。



カラーバランス

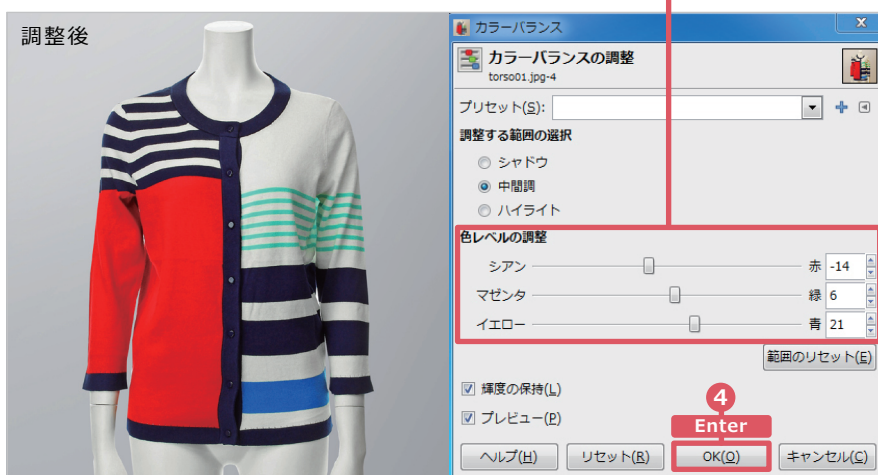


1 「色」メニューから『カラーバランス』を選択する。

ショートカットキー：カラーバランス
(Alt) + C ⇒ B

2 「輝度の保持」「プレビュー」に☑。

3 「色レベルの調整」にある各色名のスライダーを移動して調整する。

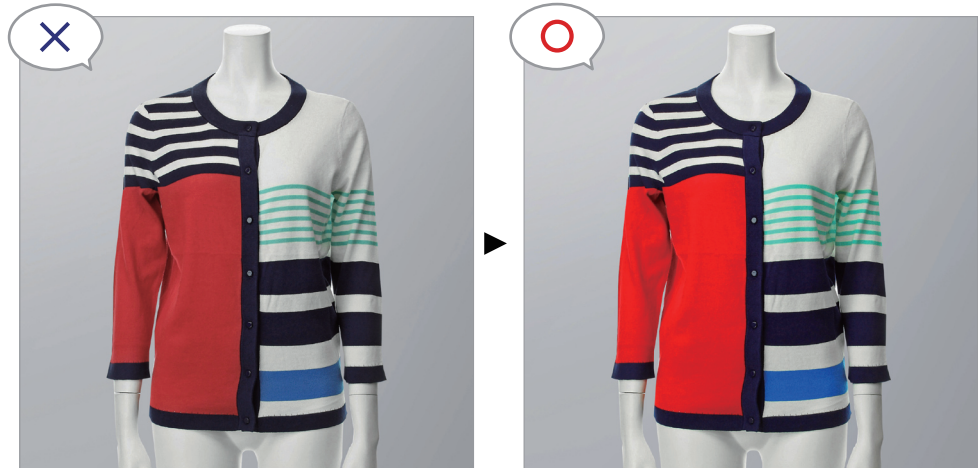


4 調整が完了したら「OK」ボタンまたは Enter キーを押す。

色相 - 彩度

蛍光灯などの弱い光の中で撮影すると、商品画像の発色が薄くなってしまいます。
(逆に自然光などの強い光で発色が濃くなってしまいうこともあります。)

そんな時「色相 - 彩度」機能を使用すると、発色の度合いを調整することができます。



色相 - 彩度



色(C)

- カラーバランス(B)...
- 色相-彩度(S)...
- 着色(Z)...
- 明るさ-コントラスト(R)...
- しきい値(T)...
- レベル(L)...
- トーンカーブ(C)...
- ポスタリゼーション(P)...

- 1 「色」メニューから『色相 - 彩度』を選択する。

ショートカットキー：色相 - 彩度
(Alt) + C ⇒ S

- 2 「プレビュー」に☑。

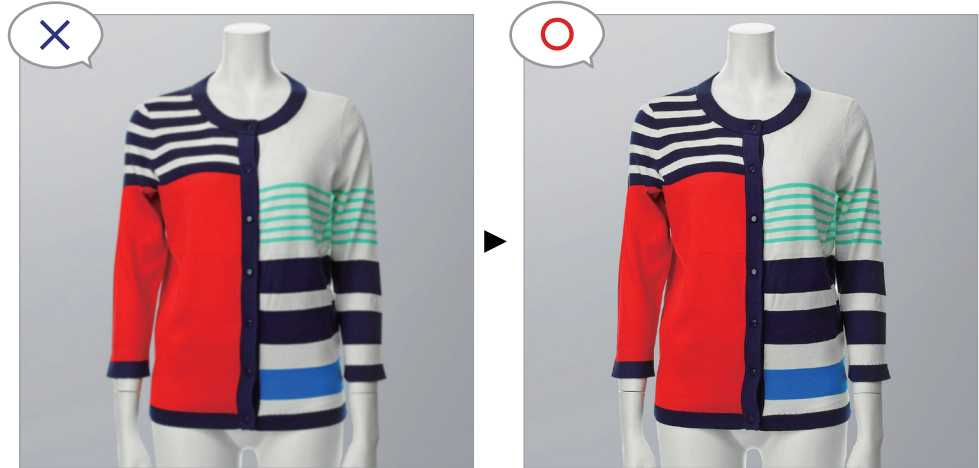
- 3 「選択した色を調整」にある『彩度』のスライダーを移動して調整する。

- 4 調整が完了したら「OK」ボタンまたは Enter キーを押す。

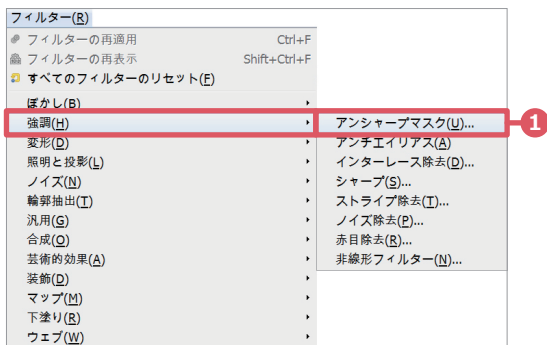
アンシャープマスク

ピントの甘さや手ブレによってボケてしまった画像は、詳細や質感が分かりにくくなり商品の全容が伝わらなくなります。

そこで「アンシャープマスク」機能を使用すると、輪郭を強調させられるので画像のボケが緩和できます。



アンシャープマスク



- 1 「フィルター」メニューの「強調」から『アンシャープマスク』を選択する。



- 2 「プレビュー」に☑。
- 3 「半径・量・しきい値」のスライダーを移動して調整する。

半径
機能を適用する広さ。
数字が大きいくほど適応される範囲が広がる。

量
機能を適用する強さ。
数値が大きくなるほどくっきりとした輪廓になる。

しきい値
機能を適応しない範囲を指定 (0 だと全体に適応される)。数値を上げると濃淡差の高い部分にしか適応されなくなる。

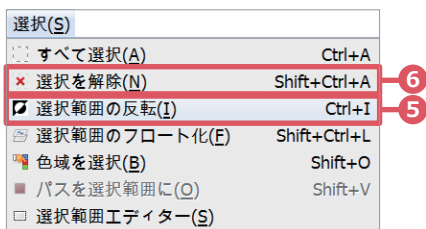
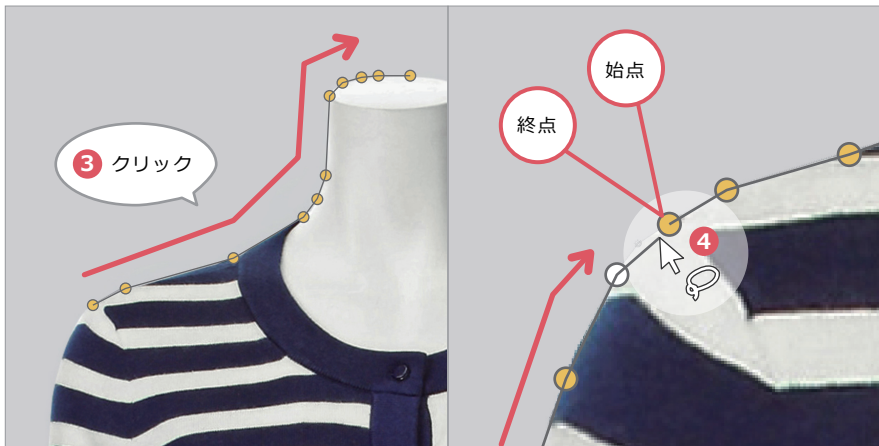
- 4 調整が完了したら「OK」ボタンまたは Enter キーを押す。

POINT アンシャープマスク後に明るさや色合いの補正をすると、輪廓が更に強調されて不自然な画像になってしまいます。アンシャープマスクを使用する場合は最後の工程としてください。

白抜き（背景を消す）画像の作り方 1

自由選択

画面内の画像をクリックで囲んで選択するツールです。
背景を選択して白く塗り潰すことにより、白背景の商品
画像に仕上がります。



- 1 ツールボックスから「自由選択」ツールを選択する。

ショートカットキー：
自由選択ツール…F

- 2 自由選択オプションで、「モード」は『なめらかに』に☑。

- 3 クリックしながら商品の輪郭をなぞる。

途中でクリックする点を誤った場合は、BackSpaceキーで一つ前のクリック点に戻ることができます。
【ポイント】商品よりやや内側を選択すると商品だけを綺麗に切り出すことができます。

- 4 始点と終点を結んで商品を囲む。

- 5 「選択」メニューから『選択範囲を反転』を選択し、Deleteキーを押して背景を消す。

ショートカットキー：選択範囲の反転
(Ctrl) ((⇧)) + I

- 6 「選択」メニューから『選択を解除』を選択する。

ショートカットキー：選択を解除
(Shift) + (Ctrl) ((⇧)) + A

白抜き（背景を消す）画像の作り方 2


ファジー選択

画像内でクリックした部分と隣接した同系色を自動選択するツールです。
背景を選択して白く塗り潰すことにより、白背景の商品画像に仕上がります。



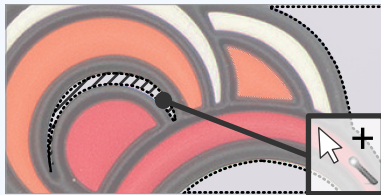
- 1 ツールボックスから「ファジー選択」ツールを選択する。

ショートカットキー：
ファジー選択ツール…U

- 2 ファジー選択のオプションで、「モード」は『』・「なめらかに」に☑。
- 3 背景をクリックして選択したい範囲を指定する。

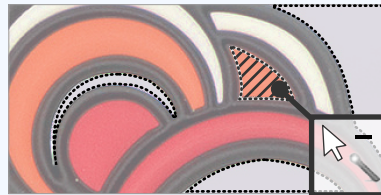
POINT

■ 選択したい場所を増やしたい場合



(Shift) ボタンを押しながらクリックすると選択範囲を加えることができます。

■ 不要な部分まで選択してしまった場合



選択範囲を指定中に **(Ctrl)** を押しながらかlickすると選択範囲から差し引くことができます。

※ 選択したい範囲が広がって商品まで選択されてしまう場合は、しきい値を下げます。



しきい値が高いほど同系色の判断を曖昧にして選択される範囲は広がります。



しきい値が低いほど同系色の判断を明瞭にして選択される範囲は狭くなります。



- 4 Delete キーを押して背景を消す。
- 5 「選択」メニューから『選択を解除』を選択する。

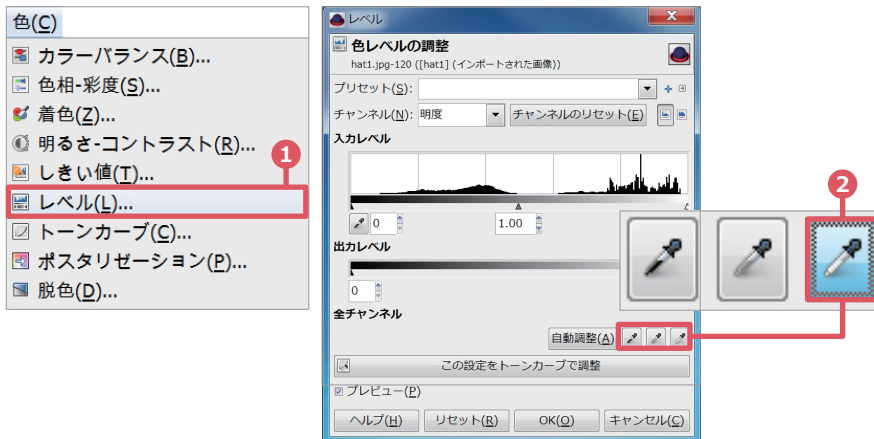
ショートカットキー：選択を解除
(Shift) + (Ctrl) + (⌘) + A

背景と商品の境界が明確な画像を選択することに特化したツールです。背景が複雑な画像や、背景と商品の色が近い画像はこちらのツールに適していません。そういった場合は「P5 自由選択」で白抜き画像を作成しましょう。

白抜き（背景を消す）画像の作り方 3

レベル

画像の中で「真っ白」にしたい部分を設定する機能です。白い背景ではない不要なグレーがいちばん濃いところを指定すると、真っ白な背景となった商品画像が仕上がります。



- 1 「色」メニューから『レベル』を選択する。

ショートカットキー：レベル

(Alt) + C ⇒ L

- 2 「入力レベル」のグラフ下にある白スポイト（白点を設定）を選択する。

- 3 綺麗な白背景になる場所をクリックしながら探す。



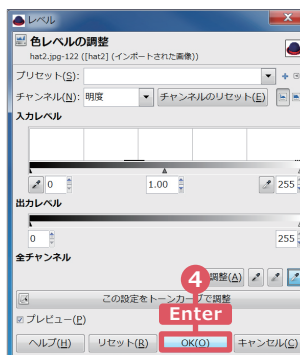
ここでは、背景のグレーが濃く残ってしまう。



ここでも、背景のグレーが残ってしまう。



ここでは、背景のグレーが消えて白背景ができた。



- 3 画像内の不要なグレーがいちばん濃いところをクリックする。（この時点でクリックするポイントは何回も試すことができる。）

■ 注意

スポイトで選択する箇所によって全体の明るさ・色合いが変わります。商品よりも暗い部分を選択すると、商品が白く飛んでしまうので注意しましょう。

- 4 真っ白くできたら「OK」ボタンまたは Enter キーを押す。

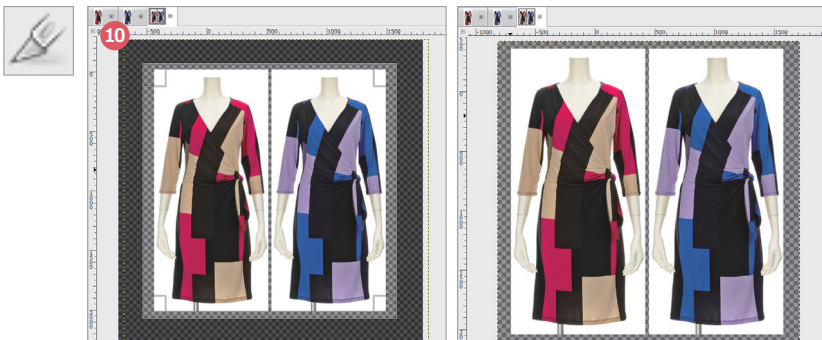
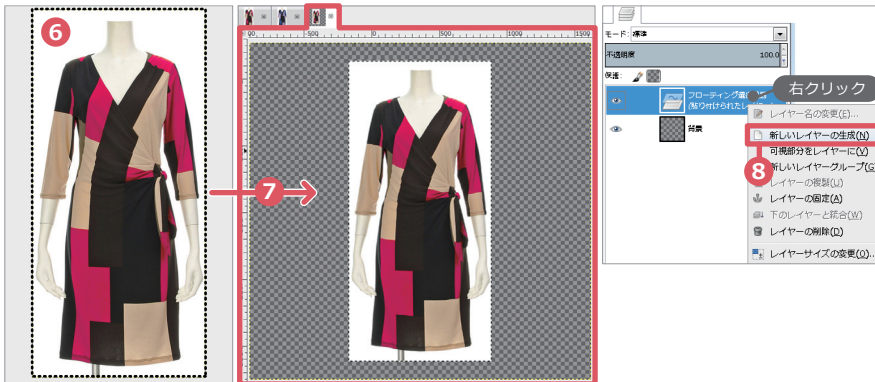
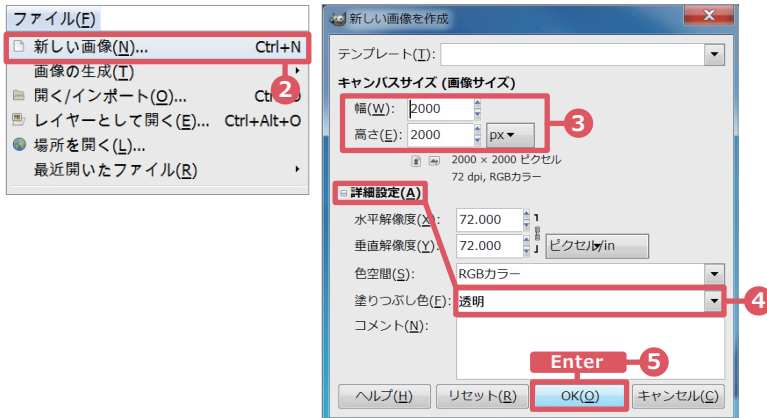
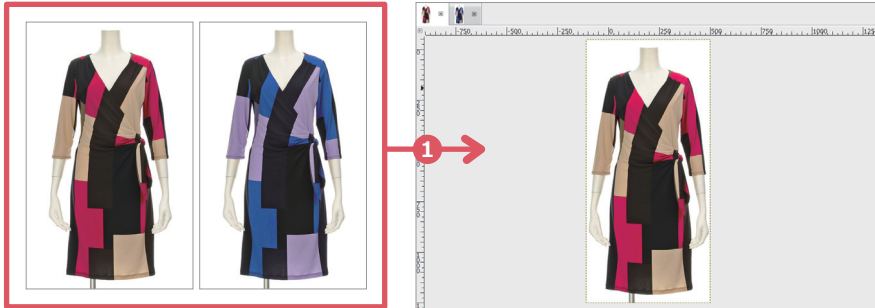
※ 白い背景で濃色の商品を撮影した場合のみ有効な方法となります。条件は上記のように限定されますが、いちばん時間がかかりません。

画像の合成

複数の画像を結合する方法を紹介します。

(※テキスト「基礎編～便利な機能紹介」P12に掲載されている『シングルウィンドウモード』にしてください。)

合成



- 1 合成したい画像を開く。
- 2 「ファイル」メニューから『新しい画像』を選択する。

ショートカットキー：新しい画像
(Ctrl) (⌘) + N

- 3 「キャンバスサイズ」を設定する。
- 4 「詳細設定」の [+] を押し、「塗りつぶし色」を『透明』にする。
- 5 「OK」ボタンまたは Enter キーを押す。

- 6 合成したい画像のタブを押し、「選択」メニューの『すべて選択』を選択して「編集」メニューの『コピー』を選択する。

選択(S)
 すべて選択(A) Ctrl+A
 選択を解除(N) Shift+Ctrl+A
 選択範囲の反転(I) Ctrl+I

ショートカットキー：すべて選択
(Ctrl) (⌘) + A
 ショートカットキー：コピー
(Ctrl) (⌘) + C

- 7 ②で作成した画像のタブを押し、「編集」メニューの『貼り付け』を選択する。

ショートカットキー：貼り付け
(Ctrl) (⌘) + V

- 8 「フローティング選択範囲」を右クリックして『新しいレイヤーの生成』を選択する。

- 9 合成したい画像はそれぞれ⑥～⑧の工程を行う。

- 10 商品が大きくみえるように切り抜きツールでトリミングする。

ショートカットキー：
切り抜きツール… (Shift) + C

補足：画像の合成

画像合成時には必要に応じて下記の工程を行います。

■ 画像を移動したい場合は…



ツールボックスの「移動」ツールで貼り付けた画像の位置が変更できる。

ショートカットキー：移動ツール… M

■ 画像の角度を調節したい場合は…



ツールボックスの「回転」ツールで貼り付けた画像の角度が変更できる。

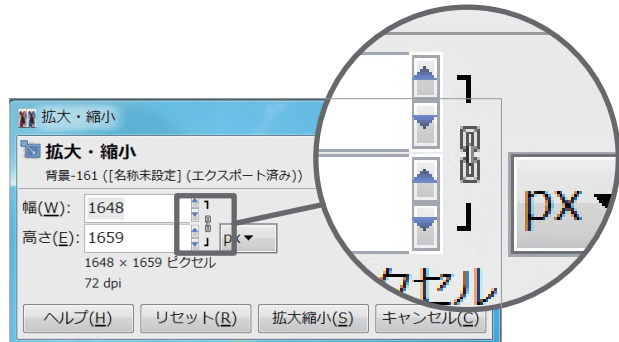
ショートカットキー：回転ツール… (Shift)+R

■ 画像の大きさを変更したい場合は…



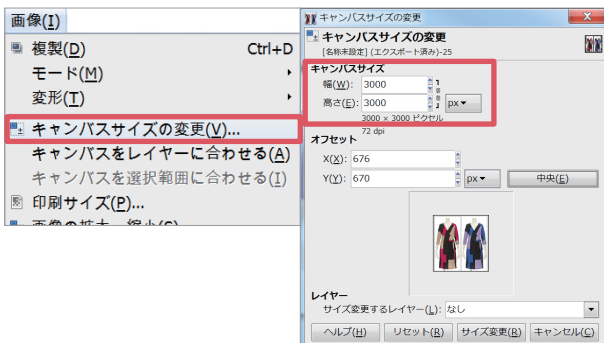
ツールボックスの「拡大・縮小」ツールで貼り付けた画像のサイズが変更できる。

ショートカットキー：拡大・縮小ツール… (Shift)+T



※縦・横の比率を保ったままサイズを変えたい時は、「拡大・縮小」ウインドウの鎖マークをクリックした上で画像の四隅の四角を移動してください。(画像の上下左右の四角を移動すると比率は保たれなくなります。)

■ 『新しい画像』のサイズが足りなかったら…



「画像」メニューから『キャンバスサイズの変更』を選択し、「幅」と「高さ」に入っている数値を現状より高くする。

■ 画像同士を重ねて不要な部分を透過したい場合は…



ツールボックスの「消しゴム」ツールを使うか、5-1(P5)・5-2(P6)の手順で仕上げるすることができます。

ロゴ / フレームの挿入

画像にロゴやフレームなどを入れる方法を紹介します。

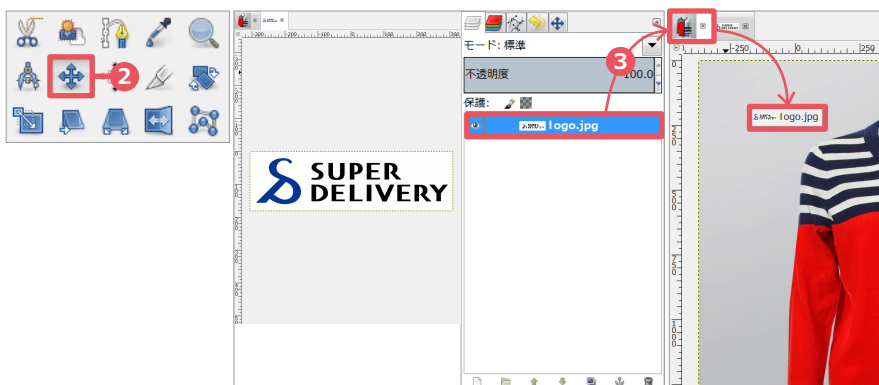
ダイアログ・ドックにレイヤーのドックが開いていない場合は「ウインドウ」メニューの「ドッキング可能なダイアログ」から『レイヤー』を選択して表示させておきます。



画像の挿入



- 1 ロゴもしくはフレームの画像と、それを入れたい画像を開く。



- 2 ツールボックスの「移動」ツールを選択する。

ショートカットキー：移動ツール…M

- 3 ロゴもしくはフレームの画像のタブを押し、挿入したいロゴもしくはフレームのレイヤーを選んで（※）挿入先の画像のタブにドラッグする。

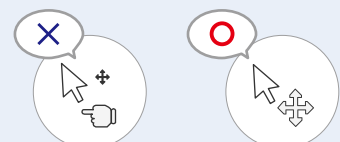
（「レイヤー」の詳細に関しては P12 をご参照ください。）



- 4 ロゴもしくはフレームをドラッグして移動する。

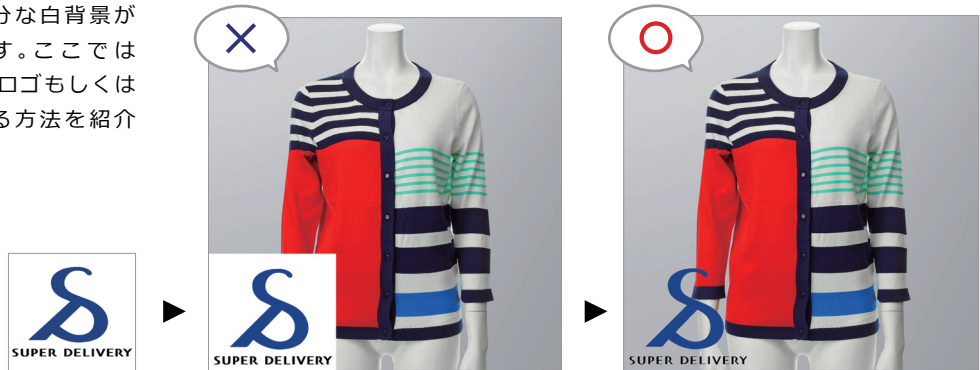
■注意

ロゴもしくはフレームをドラッグする際、カーソルを当てて指のマークのアイコンが出ているとドラッグされるのが挿入先の画像になってしまいます。カーソルを少し動かして指のマークのアイコンが上下左右の白矢印になったらドラッグして動かしてください。



補足：ロゴ / フレームの挿入

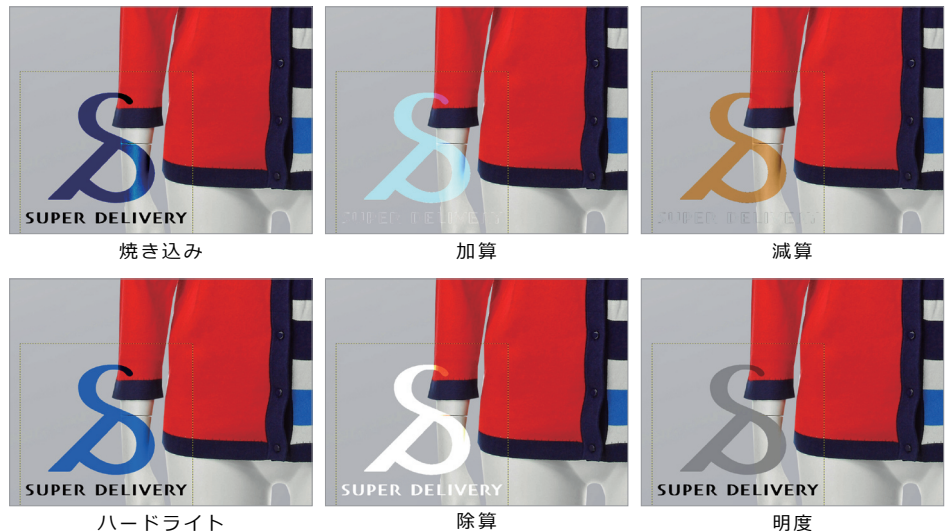
ロゴもしくはフレームに余分な白背景がついている画像があります。ここではそういった白背景を排除してロゴもしくはフレームの画像のみ合成する方法を紹介します。



- 1 ロゴもしくはフレームの画像と、それを入りたい画像を開く。
- 2 ロゴもしくはフレームの画像のタブを押し、「レイヤー」メニューから『透明部分』⇒『アルファチャンネルの追加』を選択する。
- 3 不要な背景を選択ツールで選択し、「Delete キー」を押す。
- 4 P10 の②～③の工程を行う。

参考

レイヤーパレットのモードを変更すると、ロゴもしくはフレームに効果を加えられます。(P13 参照)

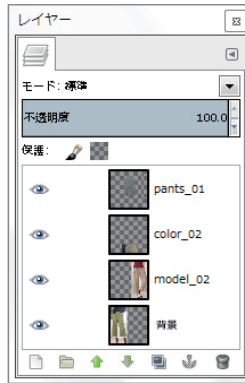


レイヤーの構造

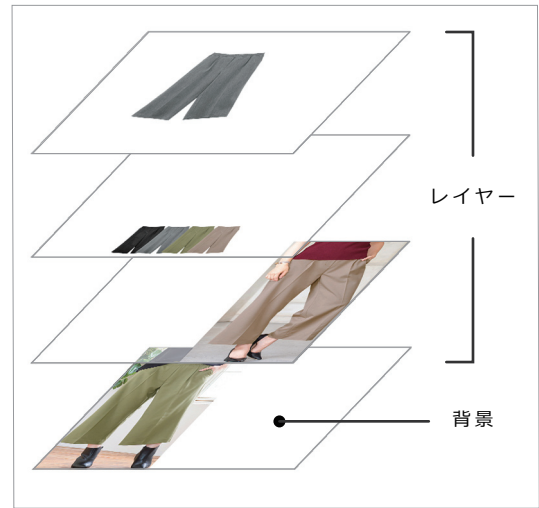
画像の合成に必要な不可欠な「レイヤー」とは、積み重ねることができる透明なシートのようなものを言います。何も描かれていない部分は透けて見えます。(グレーのチェック柄は透明を表します。)



完成画像

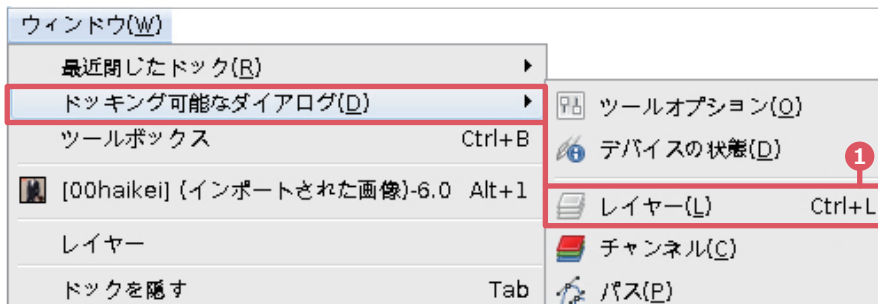


レイヤーダイアログ



イメージ

レイヤーの重なり順を変える



- 1 レイヤーダイアログが画面内に表示されていない場合は、「ウィンドウ」メニューの「ドッキング可能なダイアログ」から『レイヤー』を選択する。



- 2 移動したいレイヤーをクリックしたまま移動（ドラッグ）し、1本線が表示されたらクリックを離す（ドロップ）。



補足：レイヤーの構造

レイヤーの仕組みを覚えておくと、画像の編集 / 管理がしやすい上に画像を使って様々な表現をすることができます。

レイヤーの管理

■ レイヤーの表示 / 非表示

表示時

非表示時

一時的にレイヤーを見えなくしたい場合は、レイヤーの左側にある眼のマークをクリックします。

■ レイヤーの削除

削除前

削除後

不要なレイヤーを削除する場合は、削除したいレイヤーを選択してゴミ箱マークをクリックします。

レイヤーの効果

■ レイヤーの不透明度

不透明度：100%

不透明度：50%

画像の透明度を変えることができます。(JPEG形式で保存する前は下記のような表示となります。)

■ モードの変更

変更前

変更後

「モード」のプルダウンから、上下のレイヤーの重なり効果を加えることができます。

ショートカット一覧

GIMPでよく使う操作には、キーボードのショートカットコマンドが割り当てられています。ショートカットキーを覚えておくと、画像加工の時間が短縮できます。

ファイル	新規作成	Ctrl (⌘) + N	名前を付けてエクスポート	Shift + Ctrl (⌘) + E
	ファイルを開く	Ctrl (⌘) + O	ファイルを閉じる	Ctrl (⌘) + W
	保存	Ctrl (⌘) + S	印刷	Ctrl (⌘) + P
編集	元に戻す	Ctrl (⌘) + Z	コピー	Ctrl (⌘) + C
	やり直す	Ctrl (⌘) + Y	貼り付け	Ctrl (⌘) + V
	切り取り	Ctrl (⌘) + X	削除	Delete
選択	すべて選択	Ctrl (⌘) + A	選択範囲の反転	Ctrl (⌘) + I
	選択解除	Shift + Ctrl (⌘) + A		
色	カラーバランス	Alt + C ⇒ B	レベル	Alt + C ⇒ L
	色相-彩度	Alt + C ⇒ S		
選択ツール	矩形選択(四角形選択)	R	ファジー選択	U
	自由選択	F		
変形ツール	移動	M	回転	Shift + R
	切り抜き	Shift + C	拡大・縮小	Shift + T
その他	ズーム	Z	テキスト	T

※キーボードが直接入力(半角英数)モードになっていないと実行できません。ショートカットキーを使っても反応しない場合は入力モードを切り替えてみてください。



? ショートカットの割り当てを変更するには?

「編集」メニューの「キーボードショートカット」を選択して『キーボードショートカット設定』のウィンドウを表示させます。「操作」項目の[+]を押すと、変更できる操作およびツールが表示されます。変更したい操作およびツールを選択し、好みのキーを直接押すとショートカットキーが割り当てられます。「終了時にキーボードショートカットを保存する」に☑がついていれば、「閉じる」ボタンを押して設定が保存されます。

